

学科名	生物環境化学科・建築・デザイン学科・経営ビジネス学科						
科目名	ゼネラル英語I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を知り、世界に発信することができる力をつける。 ・リスニング力をあげる。 ・スピーキング力をつける。 ・語彙の増強 						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 Unit 1 おもてなしの心 第2回 Unit 1 おもてなしの心 第3回 Unit 2 東京スカイツリーの秘密 第4回 Unit 3 日本の風物詩―着物の魅力 第5回 Unit 4 高品質の日本テクノロジー 第6回 Unit 5 健康にいい、色彩鮮やかな日本食 第7回 Unit 6 破壊と創造―日本舞台芸術 第8回 Review 1 第9回 Unit 7 平和とおもてなしロボット 第10回 Unit 8 サムライ 第11回 Unit 9 日本のソフトパワーとなったアニメ 第12回 Unit 10 温泉で美人に！ 第13回 Unit 11 みんなで楽しむゲームを 第14回 Unit 13 世界に広がるカワイイ 第15回 Review 2 定期試験						
成績評価基準	定期試験	40%	実技	0%			
	臨時試験	20%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	25%	プレゼンテーション	15%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	日本文化について知ることができたともに、プレゼンテーションを行うことによって、発信する力(スピーキング力)及び、他の学生の英語によるプレゼンテーションを聞くことで、リスニング力も上がったと思う。また、文化についての英文を読むことで、語彙力も培われたものと思う。						
反省点	プレゼンテーションの際に、原稿を読まずに、わかりやすい説明ができるようにということを更に徹底できるとよかったかと思う。						
来年度の計画	来年度も、単に英会話ではなく、内容があるものを発信できるようしたい。取得すること、発信することの楽しさを得られるように心掛けたい。それと共に、異文化を理解できる文化的マインドも育てたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	テキストの難易度が高いにもかかわらず、学生からは、「英語は苦手だが、わかりやすく学習できた」「モチベーションがあがった」とのコメントがあり、概ねいい評価を受けた。内容があることをであれば、テキストの英文が少々難しくても、学生は楽しめるし、自信もつくものと痛感した。						
履修登録者数	21名	定期試験 受験者数	16名	合格者数	16名	合格率	100%